



料亭 一婦美

仲町の国際通りと仲町通り一帯は明治末から戦前にかけては割烹や小料理屋が軒を連ね、花柳界の町として繁栄を極めた。昔ながらの店は減ったものの、現在もバーやスナックが通り沿いに並ぶ桐生屈指の飲食街である。国際通りに佇む老舗料亭「一婦美」はシンボルの柳の下、まちの隆衰を見守ってきた。

元々、初代女将・糸井フミさんが、末広町一丁目で1948年に創業。「一丁目のフミさん」から、「一婦美」と名付けられたという。その後、現店舗へと移転し、企業の接待や商談、要人の面談をはじめとする宴席の会場として、地域経済と歩みを共にしてきた。現在店を仕切るのは、2代目で大女将の糸井容子さんと3代目の若女将・理紗さん親子。2012年にリターンし家業に入った理紗さんは、19年に亡くなった前社長の重廣さんより料理を学び、現在は女将と兼務で厨房を任される。

一婦美では大小様々な5部屋を用意し、少人数から最大50人までの各種宴席をもてなす。最近では結納やお食い初めなど、家族向けの小規模な宴席にも力を入れている。料理は料亭に相応しい伝統と格式の日本料理に加え、地元食材を使ったすき焼きや山菜料理など。「この土地ならではのものを味わってほしい」と、地域に根差す老舗として食による地域PRにも努める。また、定期的に八王子から芸者を招き、少なくなっている活躍の場を提供する。現在はコロナ禍で難しいが、お座敷文化の振興にも力を注いでいる。

かつては「歩くと肩が触れ合うほど」と形容された仲町界隈。現在は若干寂しくなったが、経営、調理、女将と何足もの草鞋を履き、頼れる女将が支える老舗の存在は明るい兆しだ。今後は身体の内側から整える薬膳メニューへの挑戦や、今年3月のテイクアウト専用スペースの開設と、格式を守りつつも広く親しまれるよう、柳のごとく柔軟に変化を見せる。「あり方は変えず、やり方を変える」、理紗さんが前職で培い大切にしている言葉が、今の一婦美を表している。



伝統と格式を守り
新たな試みでもてなす老舗料亭

【料亭 一婦美】

- 住所／桐生市仲町2-2-29 ●電話／0277-44-3537
- 営業時間／昼…11:00~15:00 夜…17:00~23:00
- HP／<http://www.ichifumi.com/>



@ichifumi_kiryu

緊急事態措置の実施により、現在、20時までの時間短縮営業並びに酒類の提供を停止しています。ご理解とご協力の程よろしくご願ひ申し上げます。